

5	単元名	体調（病気とケガ）
----------	------------	------------------

1 指導目標

- (1) 体の部位の名称を覚えさせる。
- (2) 具合が悪くなったり、けがをしたりしたときに、体の不調が伝えられるようにする。
- (3) 保健室の場所や先生が分かり、一人でも行けるようにする。

2 指導内容

- (1) 体の部位の名称を言わせる。
- (2) 「**体の部位**」が**形容詞**です。（～が痛いです。かゆいです。）の文型を理解させる。
- (3) 保健室への入室・退室の仕方を理解し、「ありがとうございました。」などと言わせる。

3 指導計画

時間	主な学習内容	指導上の留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> ○体の部位の名称を覚える。 「～です。」 頭、腹、手、足 目、鼻、耳 歯、口などを言う。 ○ゲームをする。 鼻鼻ゲーム・絵カードでカルタなどをする。 ○「痛い。」意味が分かる。 ○「～が痛いです。」の文型で話す。 「お腹が痛いです。」「頭が痛いです。」「歯が痛いです。」 ○会話の形式の受け答えを繰り返し聞く。 「どこが痛いですか。」「～が痛いです。」 ○先生が質問し、児童・生徒が答えて会話形式で練習する。 ○「痛い。」以外の表現の意味が分かり、文型を使って言う。 「気持ちが悪い。」「だるい。」「熱がある。」「元気がない。」 ○ジェスチャーゲームをする。 先生や友達の様子を見て、何をしているのかを言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体の部位の絵カードや図を用意する。 ・教師が体の部位を言い、児童にどこか示させる。 ・教師が体の部位を指し、児童がその名称を言う。 ・テキスト「たのしいがっこう」の(6ページ)を参照する。 ・ゲームで繰り返し練習し、楽しみながら言葉の定着を図る。 ・教師が、切る・ぶつける・はさむなどを母語で示し、分かりやすく演技をして意味を理解させる。 ・テキスト「たのしいがっこう」(7ページ)を参照する。 ・教師が体の部位を指しながら、痛そうな顔をして言う。 ・教師が二役をする。また、他の児童・生徒に役を担わせるなど工夫する。 ・教師と児童・生徒、児童・生徒同士でロールプレイを行う。 ・おおげさにジェスチャーして、視覚的に分からせる。 ・「～が～です。」の形で答えさせる。

2	<p>○「体の部位」名称の復習をする。</p> <p>○保健室と養護教諭の名前が分かる。</p> <p>「どこですか。」 「保健室です。」 「だれですか。」 「○○先生です。」</p> <p>○保健室に入ってから退室するまでのロールプレイを見る。</p> <p>(児童・生徒)「失礼します。」 (指導者)「どうしたの。どこが痛いですか。」 (児童・生徒)「～が痛いです。」「気持ちが悪いです。」「かゆいです。」 (指導者)「熱を計ります。」 (児童・生徒)「ありがとうございました。」</p> <p>○教師と児童・生徒、児童と児童、生徒と生徒でロールプレイを行い、言葉を覚える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・写真・絵など用意する。実際に行く。 ・教師が一人二役を演じたり、ほかの児童・生徒に役を任せたりして視覚的に理解させる。 ・入るときには、ノックをすることを教える。 ・保健の先生が指示していることを他の児童・生徒に動作化をもらい、意味を理解させる。 ・休み時間なども利用して友達同士で練習させる。
---	--	--

4 指導のポイント

- (1) 体の不調を伝えられることは、安心して学校生活を送る上で必要である。早い段階で指導することが大切である。
- (2) 「校内巡り」で保健室の場所、養護教諭を教えておく。

5 期待される成果等

- (1) 健康診断などで、保健室を利用する機会も多い。それぞれの場合における、保健室での行動の仕方が分かるようになる。
- (2) 保健室への入室及び退室の時の挨拶練習により、職員室など他の部屋でも同様に挨拶できるようになる。

6 補充・発展的な学習課題例

- (1) 「[名詞] が [形容詞] です。」から発展させ、形容詞の語彙を増やし、表現する。
- (2) 保健室にあるもの（体重計・身長計・ベット・布団・絆創膏・薬）の語彙を増やす。
- (3) 「トイレに行きたいです。」「水が飲みたいです。」「熱があります。」など必要なことを伝える。
- (4) 保健室での身体計測のやり方（体操服に着替える。靴を脱ぐ。静かに待つなど）を学習する。

7 実践例

○英語を母語とする児童

体の部位の名称については、動作で部位を示しながらゲーム感覚で継続して指導した。ロールプレイでは、小集団で学習したのでよく理解している児童に演技を行わせ、使う言葉は、カードに書いて黒板に貼り、スムーズに言えるようにした。保健室での身体計測の方法については、紙芝居形式で「靴を脱ぐ。」「体操服に着替える。」「静かに待つ。」など絵で示して、理解させた。

どうしたの？

あたま

がいたい。

だるい。げんきがない。



めがいたい。



が、いたい。



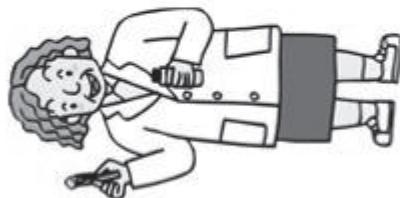
てがいたい。
おなかがいたい。
あしがいたい。
ねつがある。
きもちわるい。
…

だいじょうぶ？

せんせい、が

いたい。

ほけんしつへいこう。

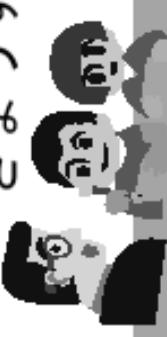


おだいじに。

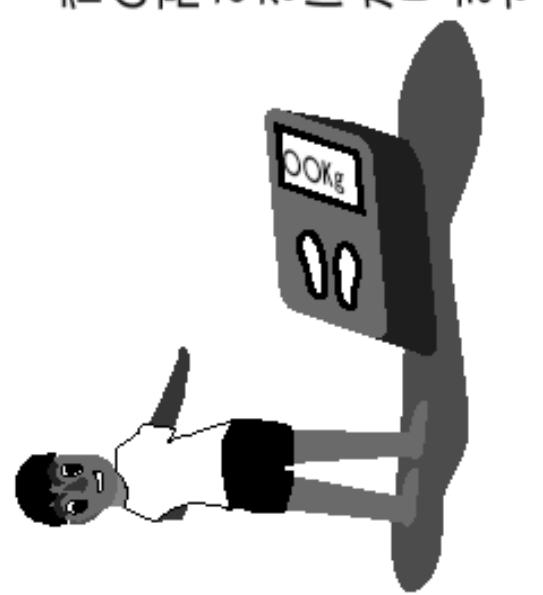
ありがとうございました。



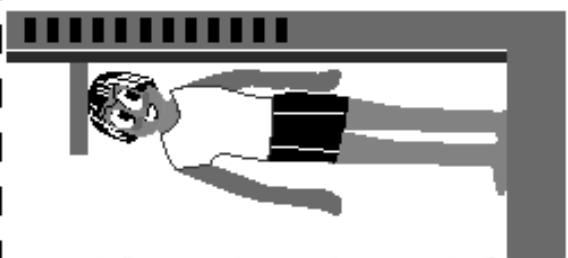
きょうするここと しんたいそくてい **身體測定**



1 体たいの重さをはかります
重じゅう測そく定てい



2 身しん長ちゆう測そく定てい
背の高さをはかります



ま
しづ
静かにすわって待ちましょう
くつはぬいでそろえます。くつ下もぬぎます
した

